

平成 30 年度学校保健統計調査の結果速報（高知県分）

確定値の公表は、平成31年3月の予定です。

【調査の概要】

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るものである。

2 調査事項

児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）。

3 調査の対象

調査の対象は、文部科学大臣が指定する幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（平成30年4月1日現在）までの児童等の一部（抽出調査）。

〈調査実施校数及び調査対象者数〉

区 分	調査実施校 (校・園)	発育状態調査		健康状態調査	
		調査対象者(人)	抽出率(%)	調査対象者(人)	抽出率(%)
幼稚園	27	873	63.1	957	69.1
小学校	58	6,273	18.9	22,520	67.7
中学校	38	4,088	23.4	12,139	69.4
高等学校	24	2,012	10.6	13,737	72.1
計	147	13,246	18.6	49,353	69.3

(注) 1. 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

2. 幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む(以下同じ)。

3. 小学校及び中学校の抽出率は、それぞれ義務教育学校の第1学年から第6学年の児童数及び第7学年から第9学年の生徒数を含む割合としている。

4 調査の時期

調査は、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、平成30年4月1日から6月30日の間に実施。

5 調査系統

文部科学大臣⇄都道府県知事⇄調査実施校の長

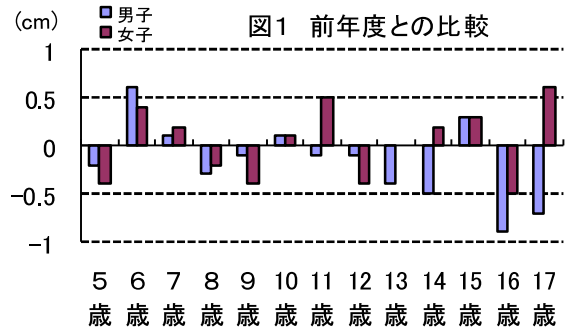
【調査結果の概要】

1 発育状態

(1) 身長

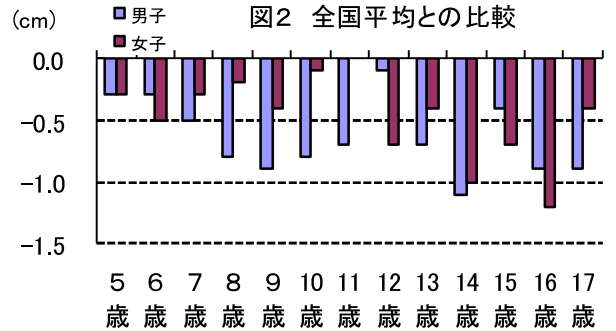
①前年度との比較

- ・男子は、6、7、10、15歳の年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、6、7、10、11、14、15、17歳の年齢で前年度より増加している。



②全国平均との比較

- ・男子は、全年齢で全国平均を下回っており、14歳では1.1cm低くなっている。
- ・女子は、11歳を除く年齢で全国平均を下回っており、16歳では1.2cm低くなっている。



③親世代（30年前）との比較

30年前の昭和63年度と比較すると、

- ・男子は、5歳を除く年齢で親世代を上回っており、12歳で2.9cm増加している。
- ・女子は、5、6、14、15、16歳を除く年齢で親世代を上回っており、11歳で1.4cm増加している。

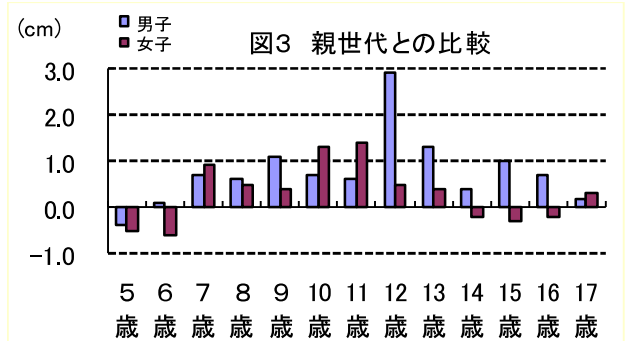


表1 年齢別身長の平均値

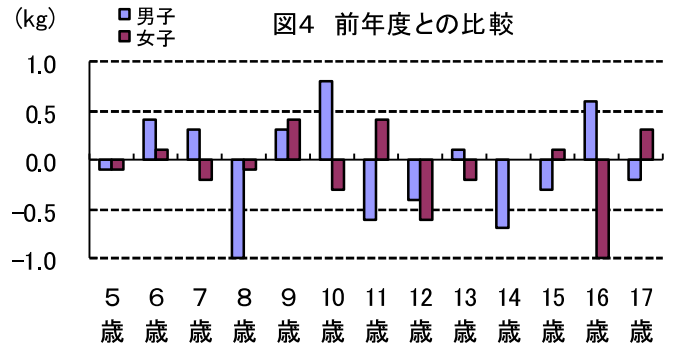
区分	年齢	男子						女子					
		平成30年度				昭和63年度		平成30年度				昭和63年度	
		高知県		全国		高知県	A-C	高知県		全国		高知県	A-C
		A	対前年度	B	A-B	C	A-C	A	対前年度	B	A-B	C	A-C
幼稚園	5歳	110.0	△ 0.2	110.3	△ 0.3	110.4	△ 0.4	109.1	△ 0.4	109.4	△ 0.3	109.6	△ 0.5
	6歳	116.2	0.6	116.5	△ 0.3	116.1	0.1	115.1	0.4	115.6	△ 0.5	115.7	△ 0.6
小学校	7歳	122.0	0.1	122.5	△ 0.5	121.3	0.7	121.2	0.2	121.5	△ 0.3	120.3	0.9
	8歳	127.3	△ 0.3	128.1	△ 0.8	126.7	0.6	127.1	△ 0.2	127.3	△ 0.2	126.6	0.5
	9歳	132.8	△ 0.1	133.7	△ 0.9	131.7	1.1	133.0	△ 0.4	133.4	△ 0.4	132.6	0.4
	10歳	138.0	0.1	138.8	△ 0.8	137.3	0.7	140.0	0.1	140.1	△ 0.1	138.7	1.3
	11歳	144.5	△ 0.1	145.2	△ 0.7	143.9	0.6	146.8	0.5	146.8	0.0	145.4	1.4
中学校	12歳	152.6	△ 0.1	152.7	△ 0.1	149.7	2.9	151.2	△ 0.4	151.9	△ 0.7	150.7	0.5
	13歳	159.1	△ 0.4	159.8	△ 0.7	157.8	1.3	154.5	0.0	154.9	△ 0.4	154.1	0.4
	14歳	164.2	△ 0.5	165.3	△ 1.1	163.8	0.4	155.6	0.2	156.6	△ 1.0	155.8	△ 0.2
高等学校	15歳	168.0	0.3	168.4	△ 0.4	167.0	1.0	156.4	0.3	157.1	△ 0.7	156.7	△ 0.3
	16歳	169.0	△ 0.9	169.9	△ 0.9	168.3	0.7	156.4	△ 0.5	157.6	△ 1.2	156.6	△ 0.2
	17歳	169.7	△ 0.7	170.6	△ 0.9	169.5	0.2	157.4	0.6	157.8	△ 0.4	157.1	0.3

(注) 1. 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。
 2. 網掛け部分は、5～17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。
 3. 「△」は減少を示す。以下の各表において同じ。

(2) 体重

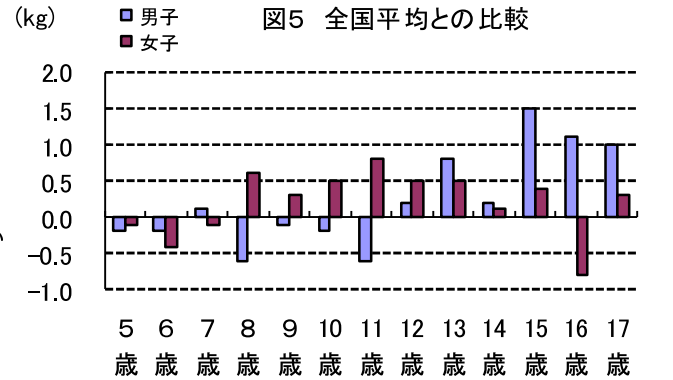
①前年度との比較

- ・男子は、6、7、9、10、13、16歳の年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、6、9、11、15、17歳の年齢で前年度より増加している。



②全国平均との比較

- ・男子は、7、12、13、14、15、16、17歳の年齢で全国平均を上回っており、15歳では1.5kg重くなっている。
- ・女子は、5、6、7、16歳を除く年齢で全国平均を上回っており、11歳では0.8kg重くなっている。



③親世代（30年前）との比較

30年前の昭和63年度と比較すると、

- ・男子は、5歳を除く年齢で親世代を上回っており、17歳で3.0kg増加している。
- ・女子は、5、6歳を除く年齢で親世代を上回っており、8、11、17歳で1.2kg増加している。

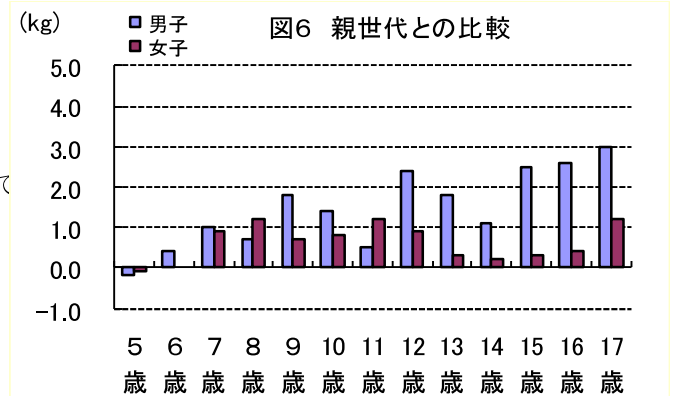


表2 年齢別体重の平均値

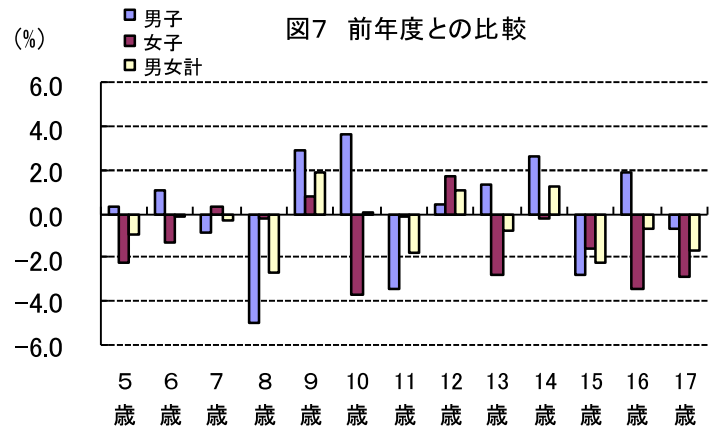
区分	年齢	男子						女子					
		平成30年度				昭和63年度		平成30年度				昭和63年度	
		高知県		全国		高知県	A-C	高知県		全国		高知県	
A	対前年度	B	A-B	C	A-C	A	対前年度	B	A-B	C	A-C		
幼稚園	5歳	18.7	△ 0.1	18.9	△ 0.2	18.9	△ 0.2	18.4	△ 0.1	18.5	△ 0.1	18.5	△ 0.1
小学校	6歳	21.2	0.4	21.4	△ 0.2	20.8	0.4	20.5	0.1	20.9	△ 0.4	20.5	0.0
	7歳	24.2	0.3	24.1	0.1	23.2	1.0	23.4	△ 0.2	23.5	△ 0.1	22.5	0.9
	8歳	26.6	△ 1.0	27.2	△ 0.6	25.9	0.7	27.0	△ 0.1	26.4	0.6	25.8	1.2
	9歳	30.6	0.3	30.7	△ 0.1	28.8	1.8	30.3	0.4	30.0	0.3	29.6	0.7
	10歳	33.9	0.8	34.1	△ 0.2	32.5	1.4	34.6	△ 0.3	34.1	0.5	33.8	0.8
中学校	11歳	37.8	△ 0.6	38.4	△ 0.6	37.3	0.5	39.9	0.4	39.1	0.8	38.7	1.2
	12歳	44.2	△ 0.4	44.0	0.2	41.8	2.4	44.2	△ 0.6	43.7	0.5	43.3	0.9
	13歳	49.6	0.1	48.8	0.8	47.8	1.8	47.7	△ 0.2	47.2	0.5	47.4	0.3
高等学校	14歳	54.2	△ 0.7	54.0	0.2	53.1	1.1	50.0	0.0	49.9	0.1	49.8	0.2
	15歳	60.1	△ 0.3	58.6	1.5	57.6	2.5	52.0	0.1	51.6	0.4	51.7	0.3
	16歳	61.7	0.6	60.6	1.1	59.1	2.6	51.7	△ 1.0	52.5	△ 0.8	51.3	0.4
	17歳	63.4	△ 0.2	62.4	1.0	60.4	3.0	53.2	0.3	52.9	0.3	52.0	1.2

(注) 網掛け部分は、5～17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。

2 肥満傾向児の出現率

(1) 前年度との比較

- ・男子は、7、8、11、15、17歳を除く年齢で前年度より上昇している。
- ・女子は、7、9、12歳の年齢で前年度より上昇している。



(2) 全国平均との比較

- ・男子は、6、7、8、11歳を除く年齢で全国平均を上回っており、15歳では4.01ポイント高くなっている。
- ・女子は、5、6、7、16、17歳を除く年齢で全国平均を上回っており、8歳では3.80ポイント高くなっている。

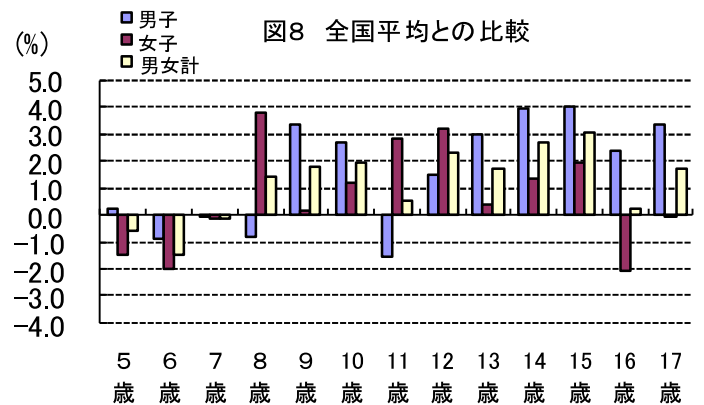


表3 肥満傾向児の出現率

区分	年齢	計				男子				女子			
		高知県		全国		高知県		全国		高知県		全国	
		A	対前年度	B	A-B	A	対前年度	B	A-B	A	対前年度	B	A-B
幼稚園	5歳	2.04	△ 0.95	2.64	△ 0.60	2.84	0.35	2.58	0.26	1.25	△ 2.26	2.71	△ 1.46
小学校	6歳	3.02	△ 0.13	4.49	△ 1.47	3.59	1.08	4.51	△ 0.92	2.44	△ 1.37	4.47	△ 2.03
	7歳	5.78	△ 0.30	5.89	△ 0.11	6.17	△ 0.85	6.23	△ 0.06	5.37	0.28	5.53	△ 0.16
	8歳	8.54	△ 2.69	7.10	1.44	6.97	△ 4.99	7.76	△ 0.79	10.21	△ 0.25	6.41	3.80
	9歳	10.43	1.91	8.63	1.80	12.87	2.94	9.53	3.34	7.84	0.80	7.69	0.15
	10歳	10.94	0.05	9.00	1.94	12.78	3.64	10.11	2.67	9.02	△ 3.75	7.82	1.20
中学校	11歳	9.97	△ 1.83	9.41	0.56	8.45	△ 3.42	10.01	△ 1.56	11.59	△ 0.15	8.79	2.80
	12歳	11.85	1.06	9.55	2.30	12.06	0.42	10.60	1.46	11.64	1.72	8.45	3.19
	13歳	9.76	△ 0.74	8.06	1.70	11.73	1.33	8.73	3.00	7.76	△ 2.85	7.37	0.39
高等学校	14歳	10.46	1.21	7.81	2.65	12.28	2.62	8.36	3.92	8.57	△ 0.26	7.22	1.35
	15歳	12.73	△ 2.29	9.70	3.03	15.02	△ 2.85	11.01	4.01	10.31	△ 1.65	8.35	1.96
	16歳	9.03	△ 0.73	8.77	0.26	12.99	1.87	10.58	2.41	4.84	△ 3.48	6.93	△ 2.09
	17歳	10.95	△ 1.73	9.23	1.72	13.85	△ 0.65	10.49	3.36	7.86	△ 2.86	7.94	△ 0.08

(注) 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

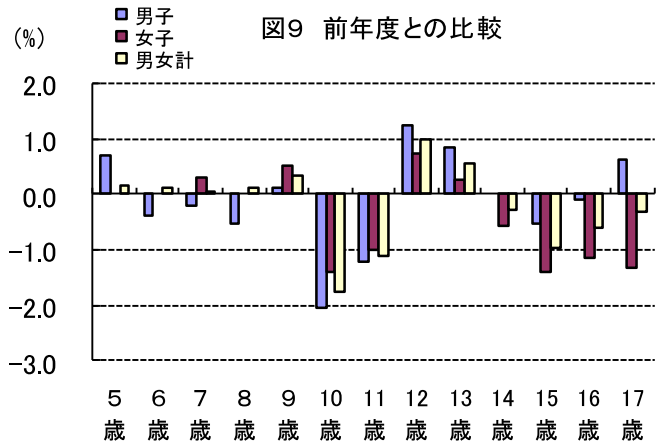
肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

3 痩身傾向児の出現率

(1) 前年度との比較

- ・男子は、5、9、12、13、17歳を除く年齢で前年度より低下している。
- ・女子は、10、11、14、15、16、17歳の年齢で前年度より低下している。



(2) 全国平均との比較

- ・男子は、5歳を除く年齢で全国平均を下回っており、11歳では1.87ポイント低くなっている。
- ・女子は、5、6、7、12歳を除く年齢で全国平均を下回っており、14歳では1.59ポイント低くなっている。

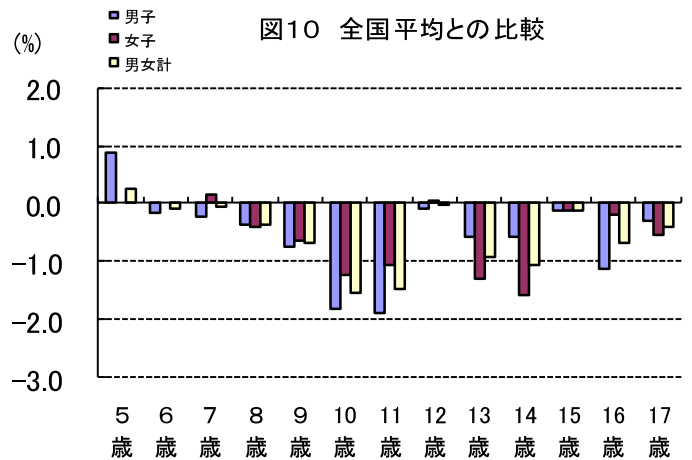


表4 痩身傾向児の出現率

区分	年齢	計				男子				女子			
		高知県		全国		高知県		全国		高知県		全国	
		A	対前年度	B	A-B	A	対前年度	B	A-B	A	対前年度	B	A-B
幼稚園	5歳	0.57	0.14	0.31	0.26	1.16	0.71	0.27	0.89	-	-	0.35	-
小学校	6歳	0.40	0.12	0.47	△ 0.07	0.15	△ 0.39	0.31	△ 0.16	0.66	-	0.63	0.03
	7歳	0.41	0.03	0.46	△ 0.05	0.15	△ 0.22	0.39	△ 0.24	0.68	0.29	0.53	0.15
	8歳	0.69	0.10	1.07	△ 0.38	0.59	△ 0.55	0.95	△ 0.36	0.80	-	1.19	△ 0.39
	9歳	1.01	0.32	1.70	△ 0.69	0.97	0.12	1.71	△ 0.74	1.06	0.53	1.69	△ 0.63
	10歳	1.23	△ 1.75	2.77	△ 1.54	1.05	△ 2.06	2.87	△ 1.82	1.42	△ 1.42	2.65	△ 1.23
中学校	11歳	1.57	△ 1.13	3.05	△ 1.48	1.29	△ 1.23	3.16	△ 1.87	1.88	△ 1.00	2.93	△ 1.05
	12歳	3.46	0.99	3.47	△ 0.01	2.70	1.24	2.79	△ 0.09	4.23	0.74	4.18	0.05
	13歳	1.84	0.55	2.75	△ 0.91	1.65	0.83	2.21	△ 0.56	2.02	0.25	3.32	△ 1.30
高等学校	14歳	1.41	△ 0.27	2.48	△ 1.07	1.62	0.00	2.18	△ 0.56	1.19	△ 0.56	2.78	△ 1.59
	15歳	2.62	△ 0.96	2.74	△ 0.12	3.12	△ 0.54	3.24	△ 0.12	2.09	△ 1.41	2.22	△ 0.13
	16歳	1.73	△ 0.61	2.39	△ 0.66	1.65	△ 0.11	2.78	△ 1.13	1.82	△ 1.14	2.00	△ 0.18
	17歳	1.59	△ 0.32	1.98	△ 0.39	2.10	0.62	2.38	△ 0.28	1.04	△ 1.33	1.57	△ 0.53

(注) 1. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

4 健康状態

(1) 主な疾病・異常の被患率（被患率別）

- ・幼稚園、小学校においては、「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高く、次いで幼稚園は「歯列・咬合」が、小学校は「裸眼視力 1.0 未満の者」の順となっている。
- ・中学校、高等学校においては、「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順となっている。

※幼稚園の「裸眼視力」項目については、疾病・異常の被患率等の標準誤差が 5%以上、受検者数が 50 人未満、回答園が 1 園以下又は疾病・異常被患率が 100.0%のため統計数値の公表なし。
 (2)、(3) についても同じ。

表5 学校種別疾病・異常の被患率順位

順位	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	区分	%	区分	%	区分	%	区分	%
1	むし歯(う歯)	39.0	むし歯(う歯)	50.4	裸眼視力1.0未満の者	56.0	裸眼視力1.0未満の者	64.3
2	歯列・咬合	7.4	裸眼視力1.0未満の者	33.7	むし歯(う歯)	38.6	むし歯(う歯)	52.5
3	口腔咽喉頭疾患・異常	6.2	鼻・副鼻腔疾患 (歯・口腔)その他の疾病・異常	7.6	鼻・副鼻腔疾患	13.0	歯肉の状態	9.4
4	その他の疾病・異常	4.6	その他の疾病・異常	6.3	歯垢の状態	8.4	鼻・副鼻腔疾患	5.9
5	アトピー性皮膚炎	3.5	耳疾患	4.9	(歯・口腔)その他の疾病・異常	7.0	歯垢の状態	5.7
6	ぜん息 鼻・副鼻腔疾患	3.1	歯列・咬合	4.7	歯肉の状態	6.1	心電図異常	4.7
7	歯垢の状態 耳疾患	2.7	歯垢の状態	4.5	蛋白検出のもの	5.1	その他の疾病・異常	4.5
8	(歯・口腔)その他の疾病・異常	1.9	ぜん息	4.0	歯列・咬合	4.7	歯列・咬合	4.2
9	その他の皮膚疾患	0.9	アトピー性皮膚炎	3.4	心電図異常	4.3	蛋白検出の者	3.4
10	言語障害	0.8	心電図異常	2.9	その他の疾病・異常 口腔咽喉頭疾患・異常	3.5	心臓の疾病・異常	2.6

表6 主な疾病・異常の被患率(被患率別)

区分	裸眼視力		眼の 疾病・ 異常	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔			せき 四肢 柱の 状態 ・ 胸郭	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	ぜ ん 息	
	1.0 未 満 の 者	0.3 未 満 の 者		耳 疾 患	鼻 疾 ・ 副 鼻 腔 患	口 疾 患 ・ 咽 喉 異 常	むし歯(う歯)								
							計	処 了 者	未 処 置 者						
幼稚園	5 歳	X	X	0.5	2.7	3.1	6.2	39.0	15.1	23.9	0.1	3.5	...	0.7	3.1
小 学 校	計	33.7	10.7	1.5	4.9	7.6	2.6	50.4	22.7	27.7	0.4	3.4	2.9	1.2	4.0
	6 歳	16.3	0.8	2.0	8.7	9.5	3.6	46.9	15.8	31.2	0.2	2.7	2.9	0.8	4.2
	7	22.6	2.6	3.3	5.5	9.4	4.1	53.1	23.7	29.4	0.1	3.7	...	0.7	4.0
	8	30.3	7.9	0.7	5.6	7.1	2.4	56.5	26.1	30.4	0.1	3.1	...	1.0	3.1
	9	36.6	12.2	0.7	3.7	7.0	2.2	56.6	25.2	31.4	0.4	3.4	...	0.8	4.6
中 学 校	10	45.9	17.1	0.7	4.3	7.6	1.6	49.5	24.5	25.0	1.0	4.3	...	1.7	5.7
	11	48.0	22.2	1.8	1.9	5.6	1.9	40.0	20.6	19.5	0.4	3.1	...	2.1	2.6
	計	56.0	25.9	2.0	2.8	13.0	3.5	38.6	21.0	17.6	1.2	2.5	4.3	5.1	1.7
	12 歳	55.8	24.4	2.6	6.0	15.3	4.1	37.5	19.4	18.1	1.0	2.9	4.3	6.6	1.5
高 等 学 校	13	55.8	24.9	2.0	0.5	11.6	3.9	36.6	20.4	16.3	1.5	2.3	...	4.4	1.9
	14	56.3	X	1.5	2.0	12.4	2.7	41.6	23.2	18.4	1.2	2.1	...	4.5	1.8
	計	64.3	41.9	1.4	0.3	5.9	1.0	52.5	29.0	23.5	1.6	2.3	4.7	3.4	1.7
	15 歳	64.2	39.4	1.5	0.5	5.5	1.3	46.1	24.2	21.9	1.8	2.2	4.7	4.1	1.9
高 等 学 校	16	60.1	40.8	1.4	0.2	6.3	0.8	54.0	31.6	22.4	1.1	2.7	...	3.3	1.4
	17	68.7	45.4	1.2	0.1	5.7	0.9	57.2	31.1	26.2	1.9	2.0	...	2.8	1.7

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。

2. 「-」は、数値がなかった場合である。

3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

(2) 主な疾病・異常の被患率（前年度比較）

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、小学校、中学校、高等学校で前年度を上回っている。
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園、中学校、高等学校で前年度を上回っているが、小学校では前年度を下回っている。
- ・「むし歯（う歯）」の者の割合は、幼稚園で前年度を上回っているが、小学校、中学校、高等学校で前年度を下回っている。
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園、小学校で前年度を上回っている。

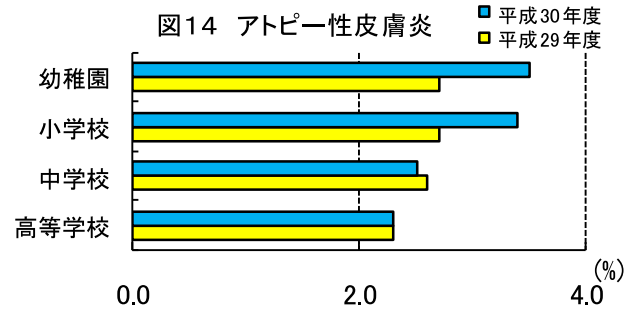
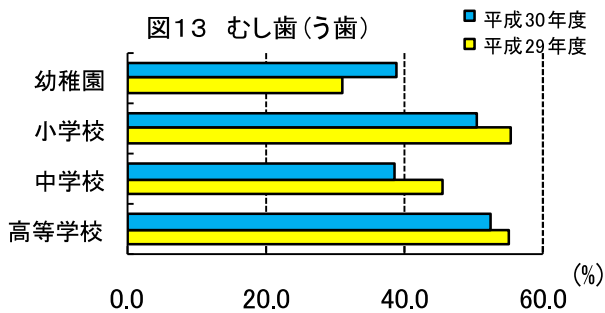
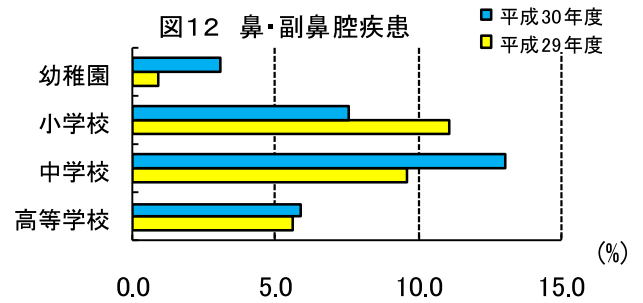
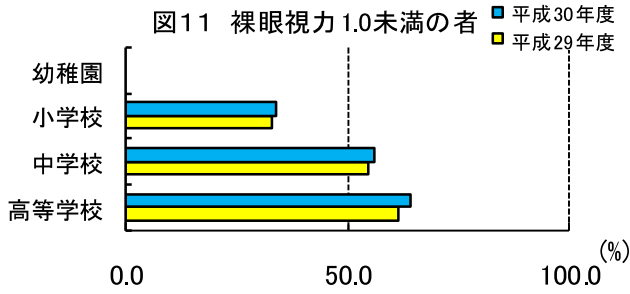


表7 主な疾病・異常の被患率(前年度比較)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳鼻咽喉頭			歯・口腔			せき柱・胸部	アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)								
							計	処完了置者	未処置のある者						
幼稚園	29	X	X	0.4	1.9	0.9	3.0	31.2	9.2	22.0	0.1	2.7	...	0.1	4.4
	30	X	X	0.5	2.7	3.1	6.2	39.0	15.1	23.9	0.1	3.5	...	0.7	3.1
対前年差	-	-	0.1	0.8	2.2	3.2	7.8	5.9	1.9	0.0	0.8	...	0.6	△1.3	
小学校	29	33.0	10.3	0.4	5.9	11.1	3.7	55.5	26.2	29.3	0.5	2.7	3.9	0.9	2.6
	30	33.7	10.7	1.5	4.9	7.6	2.6	50.4	22.7	27.7	0.4	3.4	2.9	1.2	4.0
対前年差	0.7	0.4	1.1	△1.0	△3.5	△1.1	△5.1	△3.5	△1.6	△0.1	0.7	△1.0	0.3	1.4	
中学校	29	54.4	28.7	0.5	2.3	9.6	1.2	45.5	26.0	19.5	0.9	2.6	6.2	2.8	2.6
	30	56.0	25.9	2.0	2.8	13.0	3.5	38.6	21.0	17.6	1.2	2.5	4.3	5.1	1.7
対前年差	1.6	△2.8	1.5	0.5	3.4	2.3	△6.9	△5.0	△1.9	0.3	△0.1	△1.9	2.3	△0.9	
高等学校	29	61.2	37.4	0.9	0.1	5.6	0.6	55.0	29.9	25.1	1.3	2.3	5.6	2.4	1.3
	30	64.3	41.9	1.4	0.3	5.9	1.0	52.5	29.0	23.5	1.6	2.3	4.7	3.4	1.7
対前年差	3.1	4.5	0.5	0.2	0.3	0.4	△2.5	△0.9	△1.6	0.3	0.0	△0.9	1.0	0.4	

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。

2. 「-」は、数値がなかった場合である。

3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

(3) 主な疾病・異常の被患率（全国比較）

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、小学校、中学校、高等学校で全国平均を下回っている。
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園、中学校で全国平均を上回っているが、小学校、高等学校で下回っている。
- ・「むし歯（う歯）」の者の割合は、全ての区分で全国平均を上回っている。
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園で全国平均を上回っているが、中学校、高等学校では全国平均を下回っている。

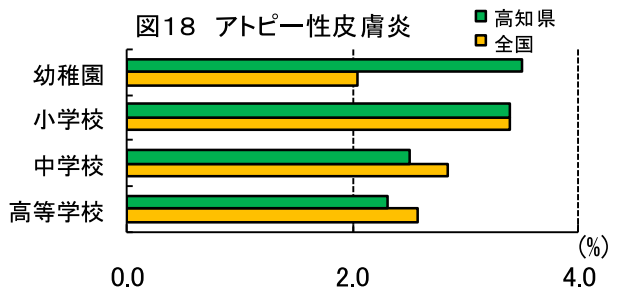
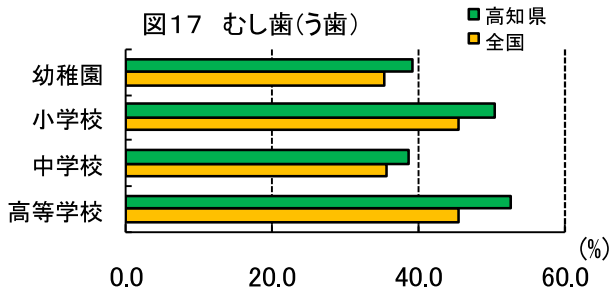
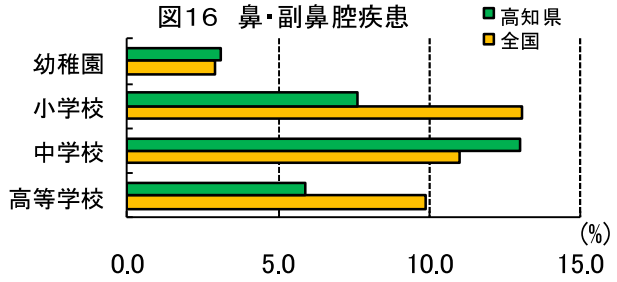
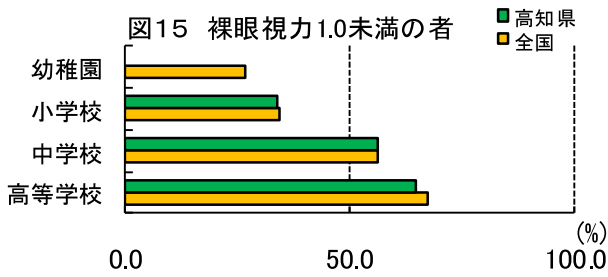


表8 主な疾病・異常の被患率(全国比較)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔			せき 四肢の状態 柱・胸郭	アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患者	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)								
							計	処完了置者	未処置のある者						
幼稚園	全国	26.69	0.87	1.55	2.31	2.90	1.45	35.10	13.60	21.50	0.23	2.04	...	1.03	1.56
	高知県	X	X	0.5	2.7	3.1	6.2	39.0	15.1	23.9	0.1	3.5	...	0.7	3.1
対全国差	-	-	△ 1.1	0.4	0.2	4.8	3.9	1.5	2.4	△ 0.1	1.5	...	△ 0.3	1.5	
小学校	全国	34.10	9.28	5.70	6.47	13.04	1.34	45.30	23.07	22.23	1.14	3.40	2.40	0.80	3.51
	高知県	33.7	10.7	1.5	4.9	7.6	2.6	50.4	22.7	27.7	0.4	3.4	2.9	1.2	4.0
対全国差	△ 0.4	1.4	△ 4.2	△ 1.6	△ 5.4	1.3	5.1	△ 0.4	5.5	△ 0.7	0.0	0.5	0.4	0.5	
中学校	全国	56.04	25.54	4.87	4.72	10.99	0.75	35.41	20.41	15.01	2.40	2.85	3.27	2.91	2.71
	高知県	56.0	25.9	2.0	2.8	13.0	3.5	38.6	21.0	17.6	1.2	2.5	4.3	5.1	1.7
対全国差	△ 0.0	0.4	△ 2.9	△ 1.9	2.0	2.8	3.2	0.6	2.6	△ 1.2	△ 0.4	1.0	2.2	△ 1.0	
高等学校	全国	67.09	39.13	3.94	2.45	9.86	0.31	45.36	27.10	18.25	1.40	2.58	3.34	2.95	1.78
	高知県	64.3	41.9	1.4	0.3	5.9	1.0	52.5	29.0	23.5	1.6	2.3	4.7	3.4	1.7
対全国差	△ 2.8	2.8	△ 2.5	△ 2.2	△ 4.0	0.7	7.1	1.9	5.3	0.2	△ 0.3	1.4	0.5	△ 0.1	

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。
 2. 「-」は、数値がなかった場合である。
 3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。